



し尿処理場が完成

9月10日から運転開始

懸案であつたし尿処理場の建設は、関係者の方々のご協力によって昨年9月総工費4千500万円で着工、日本衛生工業株式会社の手によって工事が進められていましたが、このほど完成し、9月10日から試運転が始められる運びとなりました。

同処理場は真名川左岸、堂本地係に64アールの広さを持ち、1日に2万7千人分のし尿を処理することができます。集められたし尿はまず沈槽で石、鉄くずなどを取り除き、紙とか脱脂綿はカッターでくさし、投入槽へ送られます。さらに特殊ポンプで消化槽へ送り、ここで90〜95度の熱を加えて腐敗を早め、分離したガスはガスタンクに貯蔵され、消化汚液は30日後に汚泥処理室に送られ、遠心分離機で汚泥と液体に分離し、汚泥は肥料として使用されます。液体は水で40倍程度にうすめられ、散布口床(第2消化装置)を通過して最終沈槽に送られ、さらに固形物が抜かれて、塩素滅菌ののち真名川に放出されます(放流水は魚類には害がありません)。これを加温式処理法といい、便が処理過程において人目に見えないことと臭気がたたないのが特長で、全国でも数少ない施設です。こ

の完成によつて、これまでのし尿問題は一挙に解決され衛生都市として一歩前進したことになります。

九頭竜川の底ざらえ 県の直営事業

県では治山治水事業として、九頭竜川のしゆんせつ(浚渫)工事を総工費4億3千万円、3か年計画で7月20日から着手しました。

7月2日、七坂口に現場事務所が開設され、目下、県の総機動力を結集して作業が進められています。県の計画によると、竜仙橋から下流、下荒井のえん堤間5千600メートルの川底を平均2メートル掘り下げ、(全体で60万立方米)豪雨による災害をなくしようというものです。



発行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜間 6-3601
印刷 松浦印刷所



8月の人口の動き	出生	男 19	女 27	計 46
	死亡	男 10	女 16	計 26
	転入	男 119	女 129	計 248
	転出	男 111	女 140	計 251
	世帯			9,314
	人口	45,323	男 21,790	女 23,533

福田大臣 お国入り

郷土の生んだ初の通産大臣福田一氏は9月15日晴れのお国入りをされます。この日は後援会や市が中心となつていろいろと祝賀行事が計画されています。

追加更正予算など5議案可決

第56回臨時市議会は8月19日に開かれ、37年度一般会計追加更正予算案など5議案について審議され、いずれも原案通り議決されました。

- 議案61号 一般会計追加更正予算について
- 議案62号 尚徳中学校第3期工事費303万8千800円が追加され、予算総額7億3千780万5千942円となります。
- 議案62号 公民館設置条例の一部改正について
- 大野、乾側の両公民館をそれぞれ一番上の市役所分室と乾側小中学校の

東側に移転したので、条例が改正されたものです。

- 議案63号 専決処分の報告について
- 緊急執行を要した消防庁舎建設費150万円の起債と、償還方法についての専決処分です。
- 議案64号 議案の撤回について
- 前回議会で継続審議となつた議案60号(尚徳中学校建設のための予算外義務負担承認の件)の撤回です。
- 議案65号 予算外義務負担について
- 尚徳中学校新築のため、725万を予算外義務負担とすることです。



建設進む橋と道路 永久、久保橋完成

市道松丸・萩ヶ野線の唐谷川にかかる久保橋の建設工事は、ことし6月に工費220万円で着工し、このほど長さ14.6メートル、幅9.6メートルの鉄筋

コンクリート橋として完成しました。同橋は、尚徳中学校の通学道路としては最も重要な橋で、これまでの木橋は老朽し危険であつたので、永久橋に掛替えられたものです。(写真は完成した久保橋)

災害道路も復旧

昨年3月の地震、9月の台風により、市の林道は、谷山、みの又、亥向谷など81カ所で延長3千928メートルが決壊し復旧総額6千124万円の被害を受けその復旧を急いでいます。8月には谷山9、4号工事が完成し、これまでに工費9千900万円を投じて93カ所、延1千776メートルの復旧が終り

目下残りの復旧を急いでおります。今年度末には全体の60%以上の復旧が終了予定です。(写真は復旧した谷山林道3号工事259メートル)



市の人事

(37年9月1日付、カッコ内は旧)

市民課長 水上 大二(福祉事務所長)
福祉事務所長 伊藤吉之助(市民課記録係長)
総務課付 荒矢 定治(議会事務局長)
議会事務局長 山田 沙(市民課長)
税務課第一賦課係長 酒井新左エ門(出納室係長)
税務課収納係長 石蔵 一郎(総務課)
農務課土地改良係長 堂本 悟(林務係長)
林務課林務係長 浜 竜一(土地改良係長)
商工課商工振興係長 笠松 常和(税務第一賦課係長)
市民課記録係長 鈴木 与平(下庄出張所主任)
保険衛生課環境衛生係長 安達 修一(商工振興係長)
出納室出納係長 浅山 透(収納係長)
下庄出張所主任 宮川 忍(乾側出張所主任)
総務課勤務 三井 文朗(商工課)
植村 英二(市民課)
大倉 博明(税務課)
中村 武臣(保険衛生課)
斎藤 忠男(農務課)
土谷 春栄(市民課)
松山ふみ(農務課)
松山 幸雄(富田出張所)

農務課勤務 松田 勲(建設課)
柴田 正(林務課)
明石しげ子(税務課)
林務課勤務 伊藤啓一(農務)
広瀬 円信(建設課)
商工課勤務 堂前 勉(総務課)
市民課勤務 中川 愛子(出納室)
松田 嘉三(税務課)
土橋喜代志(総務課)
保険衛生課勤務 広瀬 生実(農務課)
建設課勤務 三屋 証信(農務課)
農務課勤務 山川 実久(林務課)
出納室勤務 織田 秀子(市民課)
乾側出張所勤務 加藤 弥市(税務課)
富田出張所勤務 安川 清治(税務課)
大野保育所勤務 森水 裕子(養老保育所)
養老保育所勤務 羽生裕子(大野保育所)
復職 福祉事務所勤務 堂本 為夫
技術吏員に任命建設課勤務 南部 治
技師補に昇任農務課勤務 北山 喜雄
山下与兵衛

大野更生保護 婦人会が誕生

8月11日、市内の婦人保護司と保護司夫人、各地区婦人会員など50名で大野更生保護婦人会が結成されました。この会は市内21名の保護司と協力して更



生保護事業の充実と向上につとめ、青少年の不良化防止と、健全な育成をはかり、犯罪者のいない明るい大野市建設のために貢献しようというものです。同会はさつそく福井保護観察所長を招いて講習会を開くなど、活発な動きを見せています。

大野公民館移転 旧市役所分室へ(電 2828)

大野公民館は7月27日に旧市役所分室(楳崎組合前)に移転いたしました。50数畳の広間、16畳、12畳の小会議室講座室を設け、なお図書の出しこも利用ください。

公民館結婚に關しては従前通りご要求に応じて式場を選定しますから相変らずご活用ください。



▼ことしはこと
のほかに炎暑が厳
しかった。暑中
休暇の始まる前
の各校の先生

方、地域社会の方々の指導、配慮それに児童生徒、学生諸君の自覚毎々によつて今夏中に本市において一人も水の犠牲者が出なかつたことは特筆すべきだと思ふ。▼「海洋日本」とか「われは海の子」などとわれわれは小さい時から「水」に対する一種の誇りを持たされた。それは海外飛躍、進取の気性を謳歌する国民的気風の高揚にまで高められたが、ひるがえつて素朴な民族的生活本能からいって、幼い頃からの水泳に要約される。▼戦後の数年間は児童生徒たちに対する放任的自由があつた。それがすぎると反動的に取締りの監視主義があり、水泳訓練や、水泳指導などには消極的であつた。「水」に対する真の理解でなくて、一種の恐怖であり「さわらぬ神に口よいらぬ」とか「君子危うき近き近き」式にさえ退歩した。▼折も折「フジヤマの飛魚」の出現は疲弊困ばしいた失業失調的な国民の心にカンフル注射の役目を果たした。爾來、忘れ失なわれない「水」に対する生気は呼びもどされたかの感があるが、二年後の東京オリンピックを起えるまでに成長したわが国スポーツ界を眺めて喜ばしい限りである。▼わが大野は俗に言う「山ガ」である。「山と川」はつきののだが、水には弱い。しかし、ことし大野高校と有終中学の校庭にプールが新設された。そして、早くも第一回市民水泳大会が八月二十八日に開催された。記録はおして知るべきだが(失礼その社挙に市民あげて歓迎したい。と同時に第三、第四と各地区に新しいプールの設置を望みたい。まだヒルが抜いてく川用でしか水あびが出来ない地区の子供のためにも!。▼九頭竜 真名の川岸に両プール・サイド 早くも秋風は吹きそめた。思い出の深かつたこの夏を送る人々よ、「風立ちぬいざ生かめやも」である。さらに秋を飛躍しよう。

アホナコッチャノ
し尿処理場完成
「ウンときばつて工事を急ぎました」
—現場監督—
あほなこッチャノ

動く総合病院

医師会とライオンズクラブの無料サービス

市医師会とライオンズクラブの方たちが、医療に恵まれない辺地の方のために現地向向いて無料サービスをしてくださることになりました。

その第1回の診療が8月19日午前10時から午後3時まで、打波小学校で開かれ、87名が無料で診療や治療を受けました。この日内科、外科、小児科、耳鼻科、眼科の専門医4名が出向いて診療、投薬、処置がおこなわれ、区民の好評を拍しました。

なお医師会とライオンズクラブでは今後も毎年4回ずつ続けていきたいと語っています。



を使用または占有する場合は、いかなる場合でも道路管理者と警察署長の許可が必要ですから、必ず許可を受けてください。

ただし次のような場合は許可になりません。

1、露店および商品置場(神社、仏閣の例祭の場合をのぞく)

1、横断幕や大売出し等のノボリ

1、仮設の日よけ、雨よけなどのヒヤシ

1、電柱等の広告(はり紙、巻き紙)は車両と対面する方向

1、交差点、横断歩道、踏切、道路標識、火災報告器、消火栓から5メートル以内の場合

伝染病や食中毒を防ぎましょう

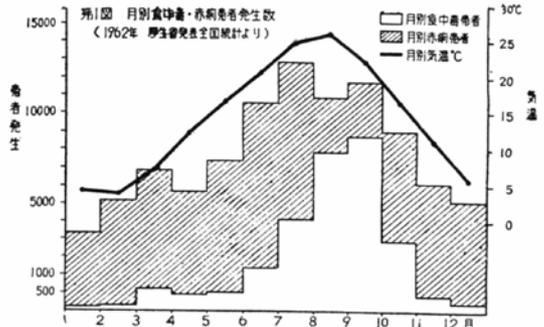
曇り日が長く続くと伝染病が出たり食中毒がおきたりします。食中毒、赤痢患者発生状況の全国的に見ますと(別表1)、9月から10月にかけて食中毒が最も多く発生することがわかります。また赤痢患者も7月~8月について多く発生することもわかります。これからその時期となりますが、次のようなことに注意して予防につとめましょう

- ①調理の前や食事の前には必ず手洗いを励行すること。
- ②はえやねずみを退治すること。食物の火入れを充分にすること。
- ③台所や便所は常にきれいにしておくこと。

食中毒の区分数



⑤夏は腐敗が早いから、買ったら時間



をおかず、早く調理すること。睡眠をとり、規則正しい食生活をするようつとめてください。

⑥野菜はよく洗って使うこと。その他夏は体が疲労し易いから充分

一日を庁舎の清掃に

教育資金のお礼に

母子、身障者の子女で市の教育資金を受けておられる22名の方が8月8日公共のために働かしてくださいと、市の福祉事務所を訪れ、庁舎の清掃をしてくださいました。こうした1日奉仕は



毎年続けられこととして5回になります。市の教育資金は昭和30年から始められ、母子家庭とか身体障害者家庭の子女の就学奨励のために、毎月授業料程度が給付されているものです。

(写真は一日奉仕で庁舎清掃)

みんなの道路

一部使用には許可を

道路は産業発達の基盤であり最も大切な公共施設です。この道路へごみを捨てたり、不法に占有して、円滑な交通を妨げたりして、これが事故の起因となる場合が多くあります。

国、県、市道を問わず、道路の一部

大切な2つの統計調査

④物価の統計調査

県民の消費生活に直結する小売物価の統計調査が、次のように実施されます。

- 1 調査期間 97年8月から毎月1回
- 2 地区 旧大野地区
- 3 対象 小売商店および借家 間借世帯

⑤家計調査

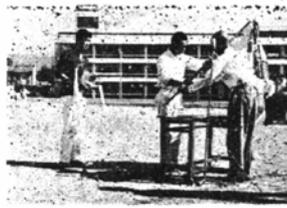
家計収支の実情を調査して経済政策や社会問題に対処する資料とするもので、次のように実施されます。

- 1 調査期間 9月10月の2ヶ月間
- 2 調査地区 旧大野地区
- 3 調査事項

1. 勤労世帯については家計費の収支

支出について
9. その他世帯員について
近日中に調査員が参りますからご協力をお願いします。

スポーツで親睦をはかる



写真は優勝旗を受ける能遷チーム代表

能遷(チーム)が初優勝

第4回大野市防犯少年野球大会は8月11、12日の2日間、有終中グラウンドに18チーム(270名)が参加して盛大におこなわれました。熱戦の結果能遷(小山)が初優勝しました。2位ビクター9位富田B、4位下庄A。

この大会は少年たちの身心の健康と夏休みのみだれがちな情操面の向上を

スギの害虫について

近年、スギノハダニが発生して被害がいつちるしくふえ、枝葉が枯れ、木の生長が止つているのが各地で見られます。これは別名、スギノアカダニ、スギノアカガモともいわれ、年数回発生し、最も繁殖の多いのは5~6月頃でその時期の被害が大きいのです。

害虫は黒みをおびた茶色で、ごく小さく(ほこり程度)目目に着きにくい。害虫がつくと枝葉の養液を吸収し、葉が枯れて黄色くなり木の生長が止ります。幼虫の期間は10日間程で卵のまま

越冬します。

被害は苗木または7~8年生以下の幼令樹に多いのですが、20~30年生の壮木にもつく場合がありますから注意してください。

防除方法はアカルくん煙剤を使用するのが最も効果的で、早朝の上昇気流を利用して行なえば簡単にできます。この防除は年3回ぐらいくり返して行つてください。薬剤は市があつせんしますからスギノハダニを発見したらすぐ市の林務課へ連絡してください。

園り防犯運動の一助として行われるもので、1チームの構成は小学生4名、中学生5名、投手は中学1年以下のものとなつており各チームの均等に回られています。

なお試合終了後優勝チーム能遷に大野市長杯と内外ゴム提供の優勝旗、2位ビクターに大野署長杯、3位富田Bに市教育長杯、4位下庄AにPTA連合会長杯がそれぞれ贈られました。また優秀7選手には個人賞が贈られました。



田野部落の新生活

新生活運動をすすめる市内田野部落では、昨年から秋祭りをやめて部落だけの運動会を行ない、おとも子供も婦人も老人もみんな総出で楽しい1日をおすごしています。これまで春、秋としたことについて、同部落の南正雄区長は「秋祭も楽しいものですが、この祭りには、家庭の主婦がほとんど夜もねむれないような苦勞をしてご馳走

を作り、又お客のために気をつかわなければならぬなどで、主婦にとってはむしろ辛い祭りであり、ほんとうに主婦も含めて一家そろって楽しめる日がほしいということから運動会が始められたもので、今年は2回目ですがみんなにもよるこぼれ今後さらに内容を豊かにしたい」と語っています。

この運動会のことしの経費は全部で約1万円。だんだん内容を充実させてゆくようですが、こんな経費で村にゆうが楽しみ、この楽しみをととして美しい人間関係をつくりあげ、新しい時代の農村経営に役立つなら、その価値は計り知れないものといえそうです。

農地、採草地の移動転用には必ず許可申請を

農地(土地台帳が他の地目であつても現況が田畑である場合)および採草地の権利の移動をしたり、農地又は採草地として使わなくなった場合は、知事の許可が必要です。必ず許可申請書を農業委員会へ出してください。最近許可を受けずに宅地などにして問題になっている例がありますので注意してください。

日常使われる外来語

- センス……………感覚
- プロセス……………過程
- アシスタント……………助手

間接撮影実施

9月9日	9.00~11.00	大野公民館	12.30~14.00	小山出張所	12.30~14.00	中休中村為前		
"	13.00~16.00	浄勝寺	14.30~16.00	大野荘	15.00~16.00	塚原		
6日	9.00~11.00	和光園	9.00~11.00	下谷津社前	9.30~11.00	六呂師小学校		
"	13.00~16.00	円徳寺	12.30~14.00	木ノ本土山養護前	12.30~14.00	阪谷小学校		
10日	9.00~11.00	水落大拓園業前	14.30~16.00	木ノ本穴田与市前	14.30~15.30	松丸分校前		
"	13.00~16.00	石どうろ二番角	9.00~11.00	上庄出張所	9.00~11.00	庄林分校		
11日	9.00~11.00	神明上 山田敬馬宅横	17日	9.00~11.00	中郷 板橋充前	12.30~14.00	中津川駐在所	
"	12.30~16.00	日吉神社前	"	12.30~14.00	葛蒲池	14.30~16.00	新在家寺島正通前	
12日	9.00~11.00	大野織疋前	"	14.30~16.00	吉神社前	9.00~10.00	中保分校	
"	13.00~16.00	長命湯前	18日	9.00~11.00	富島石蔵一郎宅	"	10.30~12.00	中狭集会場
13日	9.00~11.00	小山養協前	"	12.30~14.00	富田小学校前	"	9.30~11.30	下庄出張所
			19日	9.30~11.00	勝原小学校前	"	13.00~16.00	曙城東会館

大野市財政公表書

これは市の財政がどのように運営されているかを市民の皆さんに知っていただくため、その内容を公表するものです。主として昭和36年度の決算のあらましとことしの予算についてお知らせいたします。

昭和36年度の決算は総額50億にものぼる災害がありました。被害甚重地の指定、特別交付税の増額、災害起債の確保などにより黒字決算を見ることができました。全く皆さんのご理解とご協力のおかげでありまして、心からお礼を申し上げます。

昭和36年度の決算

歳入総額は 6億9千600万円

支出は 6億7千300万円

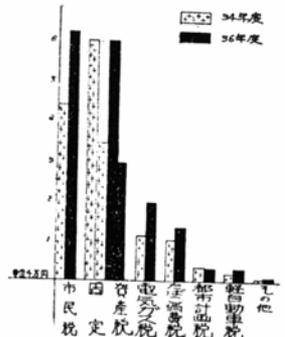
差引2千300万円の黒字

昭和36年度の一般会計が才入才出とも急増しているのは(昭和34年に比べて1.5倍の増)重点対策事業を推進したことや災害復旧の経費がふえたため

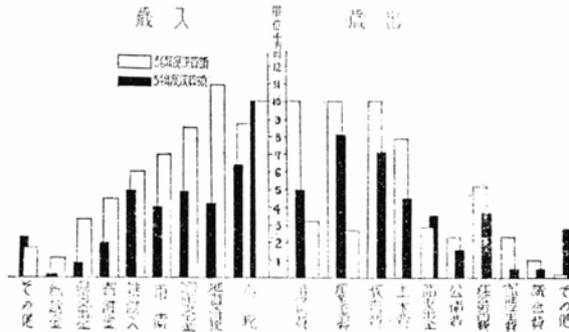
です。また国保会計は保険給付の制限解除、診療費の改訂により医療費が高くなったためです。

	34年			35年			36年		
	予算	決算	構成比	予算	決算	構成比	予算	決算	構成比
市地方交付税	162,804	164,935	41.5	166,878	176,556	39.5	190,909	186,965	30.1
地方交付税収入	41,235	41,235	10.4	53,533	53,533	12.0	91,638	109,008	17.6
地方交付税負担金	25,570	20,094	5.0	15,016	9,191	2.1	5,457	9,377	0.6
地方交付税収入	2,807	2,999	0.8	4,999	3,785	0.8	3,535	3,940	0.6
地方交付税負担金	51,858	48,495	12.2	65,447	66,552	14.9	86,025	84,917	13.7
地方交付税収入	9,078	8,360	2.1	20,205	18,788	4.2	94,099	93,658	5.4
地方交付税負担金	29,083	20,540	5.2	28,278	19,783	4.4	46,759	45,390	7.3
地方交付税収入	665	665	0.2	18,880	19,004	4.3	11,653	11,688	1.9
地方交付税負担金	40,829	49,914	12.4	93,099	93,299	7.5	64,246	61,921	9.9
地方交付税収入	44,100	40,400	10.2	94,900	94,900	7.8	66,790	69,800	11.3
地方交付税負担金	408,090	399,977	100.0	452,409	446,565	100.0	613,945	620,557	100.0

税収の状況



36年度一般会計決算状況



援助によりようやく赤字にならなかったと見えます。

才入のうち自己財源(市税、財産収入、使用料手数料、雑収入、繰入金等)2億6千784万円で41.7%となり、35年より1千481万円多く、構成比については4.5%の減であります。自己財源の県下7市平均は63.7%、全国類似市平均は53.6%でありますから、当市は19.0%、8.9%とそれぞれ

140と一番よく伸びております。これは35年の高円景気といわれた経済の余波をうけて機業の景気もよく、農家も兼業の賃金収入が意外に多く、消遊ブームにより商業も景気がよかつたためふたつたものです。その構成は第③図のとおりで前年と比べますと営業所得が2倍、給与所得及びその他事業所得が

少く、随つて貧乏財政といふこととなります。一方依存財源(地方交付税、国、県支出金、寄附金、市債等)は3億5千271万円で55.3%であります。

1人当りの税金は 3千953円

市税については第①表および第2図のとおりで34年と比べますと総額では2千200万円ふえています。これを税目毎の調定額についてみますと市民税が

36年度市民税の所得別構成



② 昭和35年度 市民1人当り収入額 (単位円)

項目	市税	交付税	国庫	専支	財政	便手
福井	4,751	236	1,068	937	29	80
井賀	5,496	260	1,513	954	527	141
武生	4,340	1,048	984	392	59	161
生駒	9,276	756	2,125	9,314	208	257
小大	9,953	1,193	1,030	880	209	85
野山	4,156	1,125	621	1,144	948	75
舞鶴	5,556	1,367	777	915	62	54
江	4,392	832	1,125	720	158	81
市平均	9,788	1,397	1,246	1,064	137	106

普通会計性質別歳出決算



1.5倍となっておりますが、営業所得は3割減となっております。固定資産税は発電施設等の大口償却資産の償却があるため減っております。税金の人口1人当り平均額は第②表にありますが県平均は3,788円、市平均は4,392円でありますから、当市は県平均より165円多く、市平均より495円少くなつております。市債は全部で6千980万円でその内訳は第③表のとおりであります。

次これら財源のつかいかたは第4図および第5図のとおりで、才出決算額は前年より1億5千800万円増で、予算に対し96.6%の執行率であります。▲議会費は、原処埋場建設および災害復旧事業費等であります。

③ 36年 起債の内訳

事業名	借入額
庁舎建設事業	25,000
都市計画事業	1,000
し尿処理施設整備事業	6,000
有給中学校増築事業	1,000
公有林整備事業	1,000
災害復旧事業	19,200
過年補助土木災害復旧	2,500
現年補助土木災害復旧	9,000
特別償還土木災害復旧	1,800
過年補助農林災害復旧	1,000
現年補助農林災害復旧	900
特別償還農林災害復旧	8,000
現年貸付事業	2,000
入欠随時新築事業	1,000
東部中学校新築事業	10,800
小山小学校(屋体)改築事業	2,200
小山中学校(屋体)改築事業	1,700
上庄中学校増築事業	700
宅地造成事業	5,000
計	69,800

④ 一般会計歳出決算目的別調 (単位千円)

項目	35年		36年	
	予算	決算	予算	決算
議会費	8,273	8,079	97.6	10,618
防衛費	85,166	84,690	99.4	132,450
消防費	12,516	12,147	97.1	14,047
土木費	63,231	58,517	92.5	62,159
教育費	65,980	64,249	97.4	103,292
社会労働衛生費	32,516	32,188	99.0	53,949
保健衛生費	9,547	3,484	36.5	23,878
産業経済費	110,293	101,988	92.4	135,344
財政調査費	1,323	10,923	99.9	2,011
統計調査費	1,323	788	59.6	295
統制費	840	740	88.1	318
公債費	20,987	19,098	90.9	24,586
諸支出計	90,396	29,987	96.8	29,269
歳入歳出差引	452,409	494,877	96.1	613,945

ます▲市役所費は職員の手料手当、物件費の他に1書建設第2年分6千100万円があります。▲土木費は34年、35年および36年と連年災害を受けた道路橋梁の復旧工事と駅東区画整理地域内の都市計画街路工事および県施行の各工事の負担金などが主なものであります。▲教育費の主なものは有給中学校、下庄中学校の生徒急増による校舎の増築、尚徳中学校第2期工事および乾岡公民館の新築等であり

ます▲社会労働費は政府の社会保障の拡充方針により保護基準が引き上げられましたので増えています。▲保健衛生費はし尿処理場建設費1千300万円の他、健民対策の経費であります。▲産業経済型の商工関係は中小企業預託金2千万円、設備近代化貸付金800万円、店舗改装貸付金600万円および観光事業振興の経費となっております。農業関係は水稲病虫害空中防除、農業構造改善パイロット地区の指導計画、土地改良事業、災害復旧事業および農場の経費が主なものであり、林業関係は林道の整備と災害復旧、林産業の振興事業の他に市有林の造林(町歩)の経費が含まれています▲公債費は返済金と資金繰りのため借入したお金の利息であります。426万円の原は主として返済金が増えたためであります。

第④図についてみますと消費的経費は前年より3千86万円増えていますその内容は人件費は給与改訂と自然備品設備の充実等により1千200万円と夫々増えています。消費的経費は年々増える傾向にありますので一層の節減を図り抑制に努めねばなりません。消費的経費が少く投資的経費の多いことは財源のつかい方がよいということあります。歳出総額の43.7%が投資的経費となつており、前年より9千900万円が増えています。その主なものは庁舎建設、都市計画、教育施設整備し尿処理場建設および災害復旧事業費等であります。

公債費は1人当り 8千130円

公債費は累増してきておりますが、今後は第⑤表のように推移します。償還金は99年がピークで一人当り1千289円

年度	現債額		1人当り償還金
	千円	千円	
96年	363,106	44,077	987
97年	394,467	51,249	1,147
98年	305,926	51,717	1,158
99年	268,253	57,565	1,289
40年	235,941	50,104	1,122
41年	215,590	37,823	847
42年	190,937	36,447	816
43年	171,816	31,516	706
44年	152,841	30,071	673
45年	135,224	27,450	615

で、しばらくは財政的に苦しいこととなります。96年末における市債の市況1人当りは8,190円となり、事業別にみますと第⑥表のとおりで、学校関係が

種別	現在額
教育施設整備	180,757
道路橋梁	91,221
災害復旧事業	46,610
簡易水道整備	15,721
消防施設	11,030
社会福祉施設	9,198
庁舎建設事業	45,960
保健衛生施設事業	6,477
産業振興事業	8,200
その他	7,680
国保整備資金	252
計	363,106

費は市平均並であり維持修繕費が上廻っておりますのは、学校等の建物が多く市道についても延長が他市より良いため経費がかかっていることがわかります。普通建設事業ががいようですが、95年は災害復旧を重点にとりあげたためであります。決算総額においては県平均並ですが、災害復旧事業を除きますと平均を下廻ることにありますので消費的経費については一層抑制して行政効果があるようにつとめたいと思ひます。

⑦ 昭和35年度性質別経費の1人当平均額 (単位円)

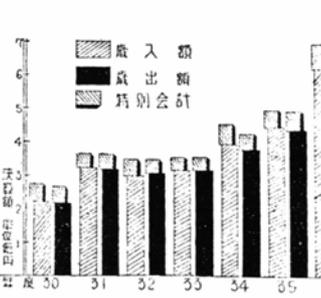
項目	人件費	物件費	維持修繕費	扶助費	普通建設費	災害復旧費	失対
福敷	2,920	871	210	1,000	3,198	104	154
井賀	2,054	1,022	375	1,361	4,170	399	226
武生	2,087	863	211	1,446	2,258	227	273
小浜	2,029	1,141	108	1,189	2,446	5,069	395
大野山	2,125	1,101	241	1,479	2,016	1,428	35
江野	2,041	990	216	732	2,212	1,059	119
江野	1,988	603	152	1,325	1,324	266	207
市平均	2,119	997	219	1,191	2,681	802	191
県平均	1,870	1,110	211	940	2,615	1,469	189

項目	公債費積立金		出資貸付金繰出金		前年繰上計
	千円	千円	千円	千円	
福敷	674	16	602	930	9,420
井賀	581	76	505	227	11,020
武生	778	27	2,640	110	8,521
小浜	840	6	2,400	88	19,953
大野山	427	225	696	27	9,740
江野	1,018	894	24	9,233	
江野	944	95	16	52	6,874
市平均	719	48	499	177	0
県平均	717	65	11	301	110

円を計画しております。

▲財産費は市有建物、自動車の損害保険料であります。▲選挙費は審議院議員選挙、市長および市議員補欠選挙および市会議員一般選挙、並びに公明選挙推進のための経費であります。▲公債費は償還元利金2千987万円と資金繰の利子960万円であります。▲諸支出金は市税徴収の経費、事務職員報酬等であります。これら経費に見合う財源として市税2億286万円を見込んでおります。これは実績と自然増を考慮に入れたものから、市民税の減税分を差引いて計上いたしました。地方交付税については後述団体に対して補正率が改訂されるほか、単位費用の増額により増収を見込んでいます。国県支出金、寄附金はそれぞれ事業に伴うものであり繰越金は96年度剰余金であります。▲市債は1億2千270万円と前年より増えていますのは、庁舎建設、災害復旧などによるためであります。

⑥ 年度別財政の伸び



むすび

昭和36年度は国際収支の赤字、金融引締などにより不況でありましたが、市税は昭和35年度の余波によつて予定以上の伸びがあり、尚皆さんのご協力により97%に近い徴収率であつたこと又地方交付税、補助金などの依存財源が確保されましたので各事業はほぼ計画どおり実施することができ、財政的にもどうにか黒字を続けることができました。

② 特別会計について

(1) 国民健康保険事業

96年度は給付改善の第1目標であります制限給付の撤廃をいたしました。4月から入院の給食と寝具について、7月から歯科の補てつについて夫々保険の対象といたしました。その結果受診率があがり、尚診療準備の引き上げ、精神病や結核に対する給付割合が7割に引き上げられる等の改訂がありましたため、診療1件当りは935円となり前年度795円の127%と急増いたし、財政的には苦しくなつたのでありますが被保険者皆さんのご協力により保険税について92%が確保され、国の補助金も国民皆保険の方針により増額されましたので419万円の黒字決算となりました。

国民健康保険事業は財政の健全を維持すると共に療養給付率の引き上げ、

或いは保険給付内容の改善充実を図るほか、予防保健活動を一段と推進して

保健皆さんが健康で明るい生活ができるよういろいろやりたいことがあ

項目	94年			95年			96年		
	才入	才出	差引	才入	才出	差引	才入	才出	差引
一般会計	396,977	377,973	19,004	446,565	494,877	-11,688	620,557	592,909	27,654
国保事業会計	41,623	41,390	233	44,014	40,817	3,197	56,819	52,625	4,194
国保施設会計	3,394	3,294	40	3,207	3,207	0	2,863	2,816	47
簡易水道会計	14	14	0	1,660	1,509	150	2,256	2,029	227
土地区画会計	5,958	4,755	1,203	4,090	19,915	-15,825	10,950	19,912	-8,962
就学奨励会計	170	151	19	211	175	36	222	155	67
児童厚生会計	26	17	9	27	23	4	22	17	5
畜産事業会計							1,803	1,803	0
公団分収会計							724	724	0
計	448,102	427,594	20,508	499,714	494,524	5,190	696,216	672,984	23,232
指数	100	100		111.52	115.65		155.34	157.99	

りますので、これからも一層のご協力を願ひいたします。決算の概要は第⑩図および第⑩表のとおりであります。

⑩ 昭和37年度一般会計当初才入予算

項目	96年			97年			比較増減
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方交付税	190,308	202,868	12,566				
地方交付税収入	57,000	100,000	43,000				
財産収入	5,457	4,907	△550				
分担負担金	501	551	50				
使用料手数料	3,955	5,459	2,098				
国庫支出金	51,295	82,147	30,852				
県支出金	26,493	26,959	520				
寄附金	21,879	98,554	16,681				
繰入金	10,000	0	△10,000				
繰越金	9,000	20,000	11,000				
雑収入	53,992	50,561	△3,431				
市債	48,800	122,700	73,900				
計	478,008	654,693	176,685				

昭和37年度は景気回復は期待出来ず「なべ底景気」が予想されます。然し乍ら前にも申したように昭和37年度予算は継続事業と災害復旧事業が主であり、経常経費が累増してまいつておりますので、財政的には極めて苦しいものがあります。然し乍らこのような事情を克服して積極的に理想都市建設を推進いたし、明るく住みよい大野市の建設のため努力いたすものであります。

昭和37年度一般会計当初才出予算

項目	96年			97年			比較増減
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
議会費	9,894	10,611	717				
役所費	81,589	165,840	84,251				
消防費	13,096	15,538	2,442				
土木費	55,497	87,491	32,054				
教育費	48,079	81,670	33,591				
社会労働費	44,852	49,392	4,540				
保健衛生費	21,171	46,630	25,459				
産業経済費	104,867	129,975	25,108				
商業費	41,596	52,520	10,924				
農林費	40,678	46,086	5,408				
農林費	7,174	8,724	1,550				
農林費	15,419	16,645	1,226				
財産調査費	1,011	1,062	51				
統計費	220	940	720				
選挙費	918	1,584	666				
公債費	24,852	36,207	11,355				
諸予備費	26,607	39,353	6,746				
支備費	1,000	1,000	0				
計	478,008	654,693	176,685				

皆さんにおかれては市政に充分の関心をもつていただき、これからも一層のご協力を願ひいたします。

37年3月末の市有財産

項目	面積
土地	2,343ヘクタール
学校敷地	
宅地	
公共施設敷地	
山林	
田畑	
公園	
墓地	
その他	
建物 (坪)	69,332平方メートル
市営住宅	131戸
公共施設	20棟
衛生施設	6棟
学校施設	31棟
有価証券	103万円

⑤ 国保会計決算表(36年度)



昭和37年度当初予算 総額 7億4千2百余万円 市制以来の大型予算

こゝしの予算は市制以来はじめての超大型予算で、総額7億4千246万円、前年に比べて1億9千591万円もふえています。この予算に組まれた重点施策は①越美北線の全線開通と電源開発の促進②配電事業の完成③災害復旧の早期完成④第2次建設計画の策定と実施⑤税負担の軽減であります。一般会計当初予算は第⑩表のとおりであります。

① 才出の概要

▲市役所費の増えていますのは庁舎建設費が8千200万円と前年より2千万円余り増えているためであります。▲消防費は署員の増員により機動力の充実を図つたものであり、▲土木費は災害復旧事業4千万円、都市計画事業1千

900万円のほか、一般土木1千700万円、このうちには維持修繕のためダンブカーを購入することになっております。▲教育費の主なものは備品設備の充実高志中学校第2期工事、幼稚園2カ所の増設、プール建設などのほか給食を備へたものであり、▲土木費は災害復旧の軽減を図つております。▲社会労働